



水と緑のパートナー

# みどり 水土里ネット ちっぷべつだより

■発行所：北海道雨竜郡秩父別町 1536 番地  
秩父別土地改良区  
【地区面積 3,944ha 組合員数 230 人】  
■発行者：理事長 境谷博之



## 謹賀新年

謹んで新年の  
お慶びを申し上げます

監事	監事	代表監事	理事	理事	理事	会計担当理事	上席理事	副理事長	理事長
安永敦也	安藤敏之	那須正利	高崎省悟	池川和志	熊谷勝	藤原賀津雄	有馬勇	福島聡宏	境谷博之
外職員一同									

### も く じ

理事長年頭のご挨拶	2 P
第 2 回臨時総代会	3 P
名誉組合員顕彰並びに土地改良事業功労者表彰	4 P
前理事長小西梅太郎氏旭日双光章受章	5 P
秩父別小学校 2 年生事業所訪問	6 P

# 年頭のご挨拶

理事長

## 境谷 博之



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

組合員の皆様には、当区に對しまして日頃からあたたかいご支援とご協力を賜り、心より厚く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと積雪が大変多く、雪解けが遅れるのではないかと危惧しましたが、その後の天候に恵まれ平年並みに融雪が進みました。

しかし、6月中旬より低温・日照不足が続く天候不順で、水稻を始め畑作物も影響を受け、収量不足となり大変残念な年となつてしまいました。

更に、9月6日に胆振東部地震が発生し、北海道で初めて震度7を観測、秩父別町でも震度4を観測しました。当改良区におきましても地震による被害調査のため、パイプラインに緊急通水を行い調査した結果、幸いにも今のところ被害報告はありませんでした。とは言っても、5月に本格的に通水した時の不安はぬぐえません。

さて、昨年任期満了によりまず役員改選が行われ、前理事長の小西様のご勇退されました。土地改良区は、小西様の当改良区の運営・発展に寄与したご功績に對しまして、昨年11月第2回臨時総代会に於いて、名誉組合員の称号を付与させて頂きました。長らく秩父別土地改良区

の発展のため、また組合員のために多くの土地改良事業に取り組むなど、大変ご尽力を頂きましたことに、あらためて深く感謝申し上げます。

また、総代も昨年8月に改選され、20名の新しい総代さんを含め35名の総代が当選されました。今後4年間、議決機関として当区の運営に関わって頂くこととなりますのでよろしくお願いたします。

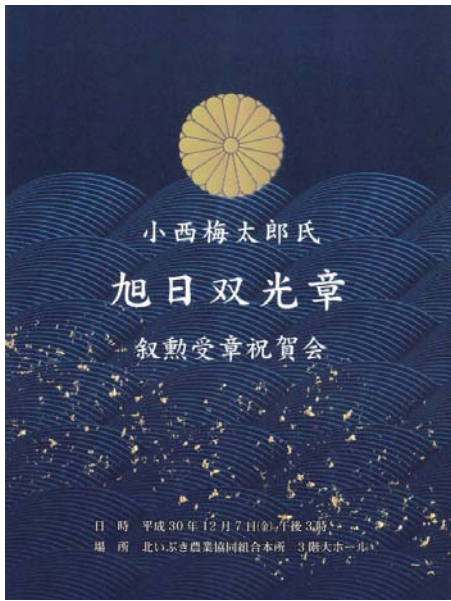
なお、今年の4月より改正土地改良法が施行され総代制の見直しや総代選挙の方法、複式簿記会計を原則導入することなどが講じられています。総代会制につきましても、設置要件が組合員200名超から100名超に緩和されました。当区の組合員の数から推察しますと、当分の間総代会制を継続できるものと判断しておりますし、総代選挙の実施についても、次回からは選挙管理委員会の下での実施から、改良区の管理によって実施する様に変わります。

複式簿記導入は、当区では平成30年度より会計細則を変更し導入しております。今年7月開催予定の平成30年度決算総代会で貸借対照表などの財務諸表が提示されます。

新年度の土地改良事業につきましては、国営総合農地防災事業雨竜川下流地区で今年より導水路の敷設工事が始まり、2024年には新しい頭首工が完成する予定です。加えて、当区第4次道営農地整備事業桜川第2地区、千秋第2一期地区、同二期地区の3地区で18億円の事業費が予定されております。その外に、組合員の皆様から希望が多くあります農地耕作条件改善事業にも取り組んでいくことにより、水田の大区画化、汎用化、そして農作業の効率化に寄与できるものと考えます。

最後に、今年こそは豊穰の年となりますよう、心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

# 小西梅太郎前理事長旭日双光章受章



【皇居拝謁を終えて】

小西梅太郎前理事長が、多年にわたり国土交通関係業務（土地改良事業）に精励されたご功績に対し、去る11月3日付で平成30年秋の叙勲、旭日双光章の栄に浴しました。この栄を受け、小西前理事長は夫人を同伴し、11月8日、都内のホテルで石井国土交通大臣から伝達を賜り、皇居において拝謁をされました。



【祝賀会終了後に奥様の昭子様と】

土地改良区は早速この慶事にあたり祝賀会を12月7日、JA北いぶき本所3階大ホールにて開催、境谷理事長の主催者挨拶ののち、神薮武町長を始め空知総合振興局佐々木局長、土地連尾田会長、管内土地改良区理事長、総代や地元農事組合など218名の方々が出席され、小西ご夫妻をお祝いしました。



【菊地理事長の万歳】

【篠田組合長の乾杯】

【神薮町長の祝辞】

【尾田会長理事の祝辞】

【橋本聖子参議員の代理で祝辞を述べる姉の高橋睦様】

# 秩父別小学校2年生

## 『えがおのひみつたんけんたい。おしごとちゅうけ』

去る10月18日、秩父別小学校2年生22人が計画した「えがおのひみつたんけんたい・おしごとちゅうけ」で、うち9人が秩父別土地改良区を訪問しました。職員もみんなで対応、それぞれ自己紹介を行い、台湾の大地に命を吹き込んだ土木技師八田與一の物語『パッテンライ』のアニメ（一部編集）を鑑賞してもらいました。子供達はアニメを観て、「ダムを造る機械がすごかった」「台湾の少年の水運びの毎日が可哀想だった」「ダムから水が流れてきて良かった」と感想をもらいました。



児童達はアニメ鑑賞の後、1人1人が事前に用意した質問を発表、職員もそれぞれ回答しました。  
児童からは、次のような質問が寄せられました。

- どんな仕事をしているの？
- この仕事を選んだ理由は？
- 自分の仕事に満足していますか？
- 仕事仲間は何人いますか？
- この会社は誰が作ったんですか？
- 車庫や倉庫の中には何があるの？

職員も質問に窮しながらも何とか応じ、最後に職員から、「大きくなったら土地改良区で仕事をしたい人」と尋ねると、4人の子供が元気に「ハイ」と答えてくれました。  
児童達には、健やかに穏やかに成長して欲しいと願う次第です。  
今回、土地改良区を尋ねてくれた9人の児童の皆さん、大きくなってまたお会いしたいですね。



【『車庫や倉庫の中には何があるの？』の質問ではヘルメットをかぶって実際に車庫を見学しました】